

令和4年度デジタル田園都市 国家構想交付金(地方創生推 進タイプ)の効果検証について

課題

- ①担い手不足
- ②地域産品(特産品)不足
- ③関係人口不足

◎上記課題解決を図るため、以下の3本柱で事業を展開していく。

- ①「担い手育成事業」
- ②「地域産品開発事業」
- ③「関係人口創出事業」



地域に開かれたまちづくり事業(道の駅を拠点とした地域ブランディング)

事業概要

事業期間: 令和4年度～令和6年度

事業主体: (株)まちづくり交流センター

総事業費: 10,000千円

本事業のKPI: ①新規就農者数
②新規地域産品数
③道の駅ごかの売上

令和4年度の事業実績

・「担い手育成事業」

農地を借り上げ、かんしょの作付け、収穫を実証。

農業に触れる機会や今後さらなる体験の場を提供できるよう、こども教室において、さつまいも堀りを実施。

・「地域産品開発事業」

五霞いもコロツケをパッケージ化し商品化。

五霞町産もち米をつかった“マヨもち揚げ”を商品展開。

・「関係人口創出事業」

こども教室の協力や小中一貫教育を見据えた総合の時間を活用した教育プログラムへの協力、高校生会や葵会などボランティア活動のサポート。

令和4年度の主な事業効果

□作付けかんしょ	15コンテナ	/	売上30,000円
□マヨもち揚げ	5,429袋	/	売上1,712,178円
□五霞いもコロッケ	306袋	/	売上238,680円
□焼き芋	3,039本	/	売上680,810円
□冷やし焼き芋	16本	/	売上3,360円
□焼き芋ジェラート	105個	/	売上39,900円
□冷凍焼いも	478個	/	売上72,210円
			<u>合計2,777,138円</u>





令和4年度の事業結果

- ①本事業による新規就農者数:0人(1人)
- ②本事業による新規地域産品数:2品(1品)
- ③道の駅ごかの売上:776,585千円(794,000千円)

※()内の数値は目標値

令和4年度の結果を受けての見直し

- ・体験農業などの実施を検討する。
- ・既存商品の改良や販路拡大に向け付加価値化に取り組む。
- ・いろいろな人材を繋げていくことで『愛着』『人づくり(地域の担い手)』を仕掛けをしていく。